

第2期野洲市国民健康保険保健事業実施計画(データヘルス計画)・第3期野洲市特定健康診査等実施計画概要版

目的：市民がいきいきと充実した毎日をおくることができる。

データ分析に基づく主な現状

○HbA1cの健診有所見の割合が、男女ともに過去3年増加している。

| | H25 | H26 | H27 |
|----|-------|-------|-------|
| 男性 | 55.1% | 56.5% | 60.9% |
| 女性 | 53.1% | 54.5% | 60.3% |

○要介護2号認定者の原因疾患では、糖尿病合併症の割合が県と比較して多い。

県：5.2% 野洲市：9.7%

○人工透析の原因疾患では、糖尿病の割合が78.4%と最も多い。

○1期計画時より糖尿病重症化予防事業を実施しているが、未参加の対象者もあり、今後も医療機関と連携しながら取組みを継続する必要がある。

健康課題

糖尿病が多く、コントロール悪化により透析に進むリスクが高いことが推察される。

目標

- ◇短期目標：自分の健康に関心をもつ人が増える。
- ◇中長期目標：健康寿命を延伸するために、生活習慣病の発症と重症化を防ぐ。

【中長期目標】

- 男女ともに、HbA1cの健診有所見の割合が減る。
男性：60.9%→57.9% 女性：54.5%→51.5%
- 糖尿病を起因とする、新規透析導入患者の人数増加を抑制する。
H27：29人
- 糖尿病腎症重症化予防事業において、HbA1cが参加時点の値より『改善・維持』が増加する。
H28：64.3%→80%以上

○メタボ該当者・予備群が多い。

男性：45.3%(774人) 女性：17.3%(411人)

○女性の腹囲・BMI・収縮期血圧で、健診有所見の割合および標準化比及び県内順位がいずれも高い。

| | 男性 | | | 女性 | | |
|-------|-------|-------|-----|-------|-------|----|
| | 割合 | 標準比 | 順位 | 割合 | 標準比 | 順位 |
| 腹囲 | 49.6% | 100.6 | 11位 | 19.0% | 115.6 | 3位 |
| BMI | 25.1% | 94.4 | 18位 | 21.2% | 112.1 | 4位 |
| 収縮期血圧 | 51.7% | 102.4 | 18位 | 50.3% | 109.5 | 1位 |

○特定健診受診者で、就寝前に夕食を摂る人の割合が高い。

男性：21.5% 女性：12.2%

○男性の特定健診受診者の喫煙者の割合が高い。

○要介護2号認定者の原因疾患では、脳血管疾患の割合が県と比較して多い。
県：46.9% 野洲市：54.8%

○運動習慣がある人の割合が低い。

男性：40.1% 女性：35.2%

○1期計画時、特定保健指導を中心にメタボ対策をしているが、特定保健指導終了率は29.9%であり、今後更に終了率の向上を目指す必要がある。

特定健診において、メタボ該当者・予備群が多く、心血管疾患の危険性が高まっている。

【短期目標】

- 禁煙相談の実施者数が増える。
H27：12人→20人
- 特定健診の新規受診者数が増える。
H27：526人→773人
- 若年層(40～50歳代)で特定健診を受ける人の割合が増える。
男性：23.7%→25.0%(40歳代)
27.1%→30.0%(50歳代)
女性：31.8%→35.0%(40歳代)
37.6%→40.0%(50歳代)
- 受診勧奨判定値以上の者の医療機関受診率が増える。
17.0%(13人/75人)→60.0%
- 特定保健指導終了率が増加する。
H27：29.9%→35%以上

【中長期目標】

- メタボ該当者・予備群の割合を維持する。
- 収縮期血圧の健診有所見者の割合が減る。
男性：51.7%→45.0%
女性：50.3%→45.0%
- 男性の特定健診受診者の喫煙者の割合が減る。
H27：24.8%→22%以下
- 喫煙率が減少する。
男性：26.4%→25.0%
女性：3.6%→3.5%
- 運動習慣がある人の割合が増える。
男性：40.1%→43.1%
女性：35.2%→38.2%

○がん検診及びCOPD検診の受診率が低い。

胃がん検診：3.2% 大腸がん検診：8.4% 肺がん検診：1.8%
子宮頸がん検診：16.8% 乳がん検診：14.6% COPD検診：9.7%

○がんの医療費は疾病別医療費割合において、入院・外来共に最も割合が高い(H28)。

入院：19.7% 外来：13.7%

がん検診及びCOPD検診の受診率が低く、医療費が高いことから、早期発見につながっていない。

【短期目標】

- がん検診の受診者が増える。
- COPD検診の受診者が増える。

保健事業実施計画

(抜粋)

| 区分 | 事業の項目 | 事業名 | 事業の目的及び概要 | 実施内容 | 対象者 | 目標 | | | |
|---------|---------------|----------------------|---|---|-----------------------------|---|-----------------------------|--|---|
| | | | | | | アウトプット | | アウトカム | |
| | | | | | | 指標 | 目標値 | 指標 | 目標値 |
| 発症予防対策 | 健康づくりへの地区組織活動 | 健康を考える会 | 〔目的〕 地域の実情に応じた具体的な健康づくりの実践により、健康づくりの意識を向上を図る。 〔概要〕 各地域の健康課題や地域の課題解決に向けた取り組みを検討し、実践に応じた実践活動へ展開していく。 | ・各自治会より推薦を受けた委員を中心に、各学区単位での健康課題や地域の課題の解決に向けた取り組みを検討し、実践に応じた実践活動へ展開していく。 | 市民 | ・7学区で実施回数 ・委員の出席率 | ・実施回数の維持 ・委員の出席率の維持 | ・参加前後のアンケートにより、委員自身の健康意識や、地域活動への取り組みの変化 ・参加後アンケートにおいて地域の活動の項目の増加割合 | ・参加前後の健康に関するアンケート :前後の差を全て15%以上にする ・参加後アンケートにおいて地域の活動の項目の増加割合:70%以上 |
| | 健診 | 特定健康診査 | 〔目的〕 生活習慣病の予兆を早期に発見することを目的 〔概要〕 生活習慣病予防のための特定健診の実施 | 特定健康診査 | 40～74歳の被保険者 | ・無料受診券を交付したか ・広報に1回以上掲載したか | 100% | 特定健診受診率 | 60% |
| | | 特定健康診査受診率向上 | 〔目的〕 特定健康診査の受診率向上 〔概要〕 受診率向上に向けての取り組みを行う | ・未受診者への受診勧奨通知 ・証発行時に個別受診勧奨 | 新規受診者 40歳代～ 50歳代の被保険者 | ・未受診勧奨通年したか ・証発行時受診個別勧奨をしたか。 ・未受診者の40-50代に3回目の受診勧奨を行う | H30 100% | ・新規受診者割合 ・40歳代～50歳代の受診率 | ・新規受診者割合 19%以上 40歳 男:25.0% 女:35.0% 50歳 男:30.0% 女:40.0% |
| | COPD検診 | COPD検診 | 〔目的〕 COPDに関する情報提供と早期発見・治療につなげる 〔概要〕 COPD検診問診票を個別交付し、4点以上の方にCOPD検診(スパイログラフ)の実施 55,60,65,70歳 | ・COPD検診問診票の送付 ・COPD検査対象者への受診勧奨・再勧奨 (自己負担有り) | 55,60,65,70歳の市民 | ・検診受診率 ・COPD検診対象者への個別勧奨及び再勧奨をしたか | H28検診受診率 15% 再勧奨:100% | 喫煙者の減少 | 男:25.0% |
| | 特定保健指導 | 特定保健指導 | 〔目的〕 自らの健康状態を自覚し、生活習慣の改善 〔概要〕 特定保健指導対象者に対し、保健指導を実施 | 直営 | 特定保健指導対象者 | ・特定保健指導実施率(積極的・動機づけ支援) ・未利用者への利用勧奨実施率 | ・特定保健指導実施率 35% | ・メタボ該当者、予備群の減少率:27% ・特定保健指導による特定保健指導対象者の減少率 ・就寝前に夕食を摂る人の割合が減少 ・HbA1cの健診有所見(男女)の割合が減少 ・収縮期血圧の健診有所見の割合 ・運動習慣がある人の割合 | ・メタボ該当者、予備群の減少率:27% ・特定保健指導による特定保健指導対象者の減少率:30% ・就寝前に夕食を摂る人の割合:男 20% 女 10% ・HbA1cの健診有所見(男女)の割合: 男:54.0% 女:54.0% ・収縮期血圧の健診有所見の割合:男性:48.7%女性:47.3% ・運動習慣のある人の割合:男性43.1%、女性38.2% |
| 重症化予防対策 | 受診勧奨 | 特定健診受診後必要医療対象者受診勧奨事業 | 〔目的〕生活習慣病の早期発見・早期治療〔概要〕健診の結果、受診勧奨値以上の者で、その後、医療機関の受診確認ができない者に受診勧奨 | ・受診確認できない者へ状況確認通知 ・訪問・電話等の受診勧奨 | 40歳～74歳の被保険者 | ・通知をしたか ・訪問・電話等の受診指導をしたか。 | 100% | ・受診勧奨判定値以上の者の医療機関受診率 | ・受診勧奨判定値以上の者の医療機関受診率60% |
| | 糖尿病の重症化予防 | 糖尿病重症化予防事業 | 〔目的〕 糖尿病治療を受けている者に対し、糖尿病重症化予防を行うことで、透析への移行を抑制する 〔概要〕 レセプトから対象者を選定し、生活習慣改善に向けた個別指導(6ヶ月)を実施 | ・6ヶ月間の集中的な面談・電話等による個別指導・指導にあたり、主治医と「指示箋」と「指導報告書」により連携を図る。 | 40歳～74歳の被保険者 | ・事業の参加人数の維持 | 事業参加人数 39人 | H27 HbA1cの値が事業参加時時点からの変化 | HbA1cの値が事業参加時時点からの改善・維持が90% |
| 喫煙対策 | 喫煙対策 | 禁煙相談 | 〔目的〕 喫煙率の減少 〔概要〕 禁煙希望者に健康教育を行い、継続的な支援により禁煙サポートを実施 | ・禁煙教育・相談 | 市民 | ・禁煙相談の回数 ・禁煙相談の実人数 | 継続実施 20人 | 喫煙率の減少 | 男性:25.0%以下 女性:3.5%以下 |
| 医療費適正化 | 医療費適正化 | 医療費通知 | 〔目的〕 医療費の適正化 〔概要〕 医療費の自己管理及び請求内容の確認により医療費の適正化・抑制を図る。 | 医療費通知の送付 | 被保険者 | ・通知を交付したか | 年4回 | 医療費の削減 | — |
| | 医療費適正化 | 医療機関受診の適正化 | 〔目的〕 医療機関受診の適正化 〔概要〕 重複、頻回受診、重複服薬の対象者に対し適正受診をすすめ、医療費の適正化を図る | 通知、訪問指導により実施 | 被保険者 | ・通知をしたか ・訪問指導をしたか | 100% 100% | 重複、頻回受診、重複服薬の対象者の通知・指導1年後の医療費合計の減少 | 通知・指導時より80%の減少 |
| がん対策 | がん検診 | がん検診 | 〔目的〕 がんによる死亡を減少させる 〔概要〕 集団・個別医療機関でのがん検診実施 | ・個人通知による受診勧奨 ・未受診者へ受診勧奨 ・精密検査対象者へ個別受診勧奨 | 市民 | ・個別通知 ・再勧奨通知をしたか ・精密検査対象者へ個別受診勧奨をしたか | 100% | がん検診の受診率 精密検査受診率 | 胃がん:5.2%以上(659) 大腸がん:10.4%以上(1318) 肺がん:3.8%以上(482) 子宮頸がん:19.8%以上(1027人) 乳がん:18.6%以上(746人) 精密検査受診率:100% |